

平成 18 年 度

事 業 報 告 書

平成 19 年 5 月 30 日

社 会 福 祉 法 人

陽 光 福 祉 会

平成18年度 社会福祉法人陽光福社会 太陽の子保育園の事業報告を、
次の通りまとめましたので、ご報告申し上げます。

社会福祉法人 陽光福社会
理事長 大庭 正宏

はじめに

開園6周年目を迎えた平成19年度も、大きな事故・特別な感染症の拡がり・食中毒の発生などの問題発生も無く、園児・職員の皆が元気に過ごすことが出来、なによりと思います。

さて、今年度のトピックは、東京都のサービス推進費の「経営改革補助金制度」を活用させていただいて、コンサルタント会社：日本経営教育研究所の指導を受けながら、当園の経営改革を推進したことが一番大きい事柄と思います。今年度は1年目であり、「選ばれる保育園となるための職員の意識改革」と「人事・給与体系の改革」を大きな改革項目として取り組みました。

職員の意識改革では長屋講師を中心に、常勤職員32名を対象とした研修会を夜6時から8時まで14回開催し、コア職員(8名)対象の研修会を4回実施した。この中では、社会人としてのマナーや選ばれる保育園となる為に知っておくべき「6つの常識」といった基本事項や行事研修のように具体的な研修、さらに勤務マニュアル作成(職員全員で作った勤務マニュアルを添付)などを通し、職員一人ひとりの意識改革が図られ大きな成果を得ることが出来ました。

人事・給与体系改革では、従来の年功序列の給与体系から職務の質ならびに職員の年齢、経験、勤務成績及び勤務条件等を考慮した能力給付的制度体系に改め、「新給与規定」を制定し4月1日付で運用を開始した。

今年度実施した経営改革研修での成果をさらに高めるため、平成19年度も引き続き日本経営教育研究所の長屋講師を中心とした改革研修に取り組むこととします。

さて、今年度を月別の特記事項で振り返ってみると

- 4月 ・4月1日付の入所児童数は、全体で109名と1名の定員未達であったが、5月には112名となり順調な入所状況であった。
 - ・駐車場整備①自転車倒れて車を傷つけた事故があり、自転車置き場と自動車用駐車場の間にU字柵を設置した。(9.5万円) ②駐車場の一部に駐車スペースが狭すぎるとの苦情があり、6台→5台にスペース拡大をするための白線の塗り直し作業を行った。
- 5月 ・昨年は雨のため中止となってしまった「親子遠足」を5月20日晴天の下大成功で開催した。なお、今回から従来の羽村堰下レクリエーション広場から昭和記念公園に場所を移して行った。
 - ・5月30日(火)6:00から澤井先生をお招きして、職員研修会を開催した。各クラスの発達障害児や気になる子について、その一人ひとりの子どもについての保育を進める上で、どのようにかかわっていくのが最良であるかを懇談的に指導してもらった。
- 6月 ・6月10日(土)9:30～11:30ひよこ組懇談会を開催した。クラスとして行う懇談会はひよこ組だけであり、新リーダーの山内tがかなり緊張して当日を迎えたようであるが、保護者の皆様に当園の方針等を良く理解していただけたようである。
 - ・6月11日(日)厨房の廣瀬恵子さんが、長山氏と結婚式を立川のハルスホテルで挙行了した。
- 7月 ・7月15日(土)当園三大行事の一つSUNSUNまつりを開催した。開催予定時刻(4:30)が近づくと雲行きが怪しくなると、一時雹と突風が吹きテントが飛ばされそうになり、これを女性職員も雹に腕を叩かれながら必死に支え続け、下着までびしょりになって守ってくれた姿に感動した。こんな一幕もあり、開催時刻になっても雨が降り止まず心配したが、15分位様子待ちをしたところ雨も止み何とか開催にこぎつけた。今年の出し物は、ねぶたをヒントに子どもたちも参加して作った全長約5メートルの大きな籠で、これを台車に乗せて子どもたちがやぐらの周りを引っ張って回ったことである。開催前の悪天候にもかかわらず、全体的には大成功のサンサンまつりであったが、一つ残念だったのは、悪天候のため近隣の婦人会の方々が中止だろうと判断した方が多くて、顔を出した人が2名くらいのため、この盆踊りが中止になったことである。

- 8月 ・8月14日～18日の一週間実習生の小林茉祐子さんのインターンシップを受け入れた(10月の本実習(一週間)の2回であるが)。当園では過去実習生の受入は、大庭正宏氏の一名のため実質的には初めての受入となった。非常に良い学生さんであり、この面倒をみた我妻主任の負担が大きかったようであるが、できれば今後もこうした実習生を積極的に受け入れられる体制にもっていきたい。
- 9月 ・昨年に引き続き、敬老の日になんでお年寄りを保育園に招待して「ふれあい昼食会」を開催した。(9月14日木)今年も、近隣のお年寄り11人に加えライオン組の祖父母23人も招待し、全員で34人のお年寄りとライオン組21名の楽しい昼食会となった。
- 10月 ・第6回親子運動会を10月14日(土)に開催した。
昨年に引き続き、お弁当なしの午前中の時間帯での開催である。内容的には例年を踏襲したものであったが、サンサンまつりで作成した「龍」を活用した競技等、競技内容に工夫がされ、好天気にも恵まれて大成功の運動会であった。
- ・ホップの会のキャンプ研修会が10月21・22日羽村多摩川縁阿蘇神社近くの川岸で行われ、昨年同様福田t、野口t、大庭園長の3名が参加した。
 - ・10月30日近くの畑で「いも掘り」を行い、全園児が参加して楽しいいも掘りができた。
- 11月 ・西保連の職員研修会が奥多摩の日原自然学校 ねねんぼうで開催され、大庭園長と福田tの2名が参加した。自然学校の案内員の引率・説明のもと参加者約40名が、日原鍾乳洞のすぐ前の山を登ったがかなりの登山コースで大変だった。案内員の各所に於ける自然(樹木中心)についての色々な説明を聞きながら、有意義で楽しい研修となった。
- ・第12回はむら保育展が11月18・19日開催された。当園の実行委員は小峰tで、1・2歳児の年齢別保育室を担当した。実行委員長は羽村まつの木保育園の橋本園長が担当した。今回は会場を従来のコミセンからゆとろぎに移しての初めての開催であり、色々な面で大変であったが、入場者数は従来の2倍であり、内容も充実して大成功の保育展となった。
 - ・11月25日(土)ゆとろぎで西保連の保育研究大会が開催され、当園の山内tが実践部会で「子どもの心と向き合う保育」との題名でKJ法を用いた話し合いのなかで感じたことを発表した。
- 12月 ・12月3日(日)割烹かわむらで理事会を開催した。今年も役員改選の年であるが、4期目(18年12月13日～20年12月12日)も全員が留任していただけたのが最良であったが、坂本理事が退任されることになった。この6年間大変なお世話になり、感謝状と心ばかりの記念品をお渡しした。理事必要人数が6名のため、当面は一人欠けたままとする。
なお、この理事会で、平成19年4月1日をもって、園長と理事長の交代についても承認された。
- ・12月16日(土)第6回サン太おたのしみ会を羽村市生涯学習センターゆとろぎで開催した。従来のコミセンからゆとろぎ小ホールに会場を移して行った。新しい会場で設備も整っており、やはりコミセンでやるよりも良い。
昨年と同様「たまご座」の演奏と4、5歳児の歌&楽器演奏、職員の出し物を中心に行ったが、参加した親子の満足そうな姿から成功の催しとなった。
 - ・12月21日(木)におもちつき会を開催したが、今回も屋内ホールで餅つきをした。
- 1月 ・1月16日(火)今年度第2回目の「澤井先生を囲んでの懇談会(気になる子対応研修)」の園内研修を開催した。
- 2月 ・2月15日(木)町田のゆい企画の「バクさんのおもしろガラクタ箱」を当園によんで、子どもたちにホールでの楽しいひと時を過ごしてもらった。バクさんこと深代利定を中心とした3人で、歌ありお話あり紙芝居ありのたのしい内容であった。特に、改革研修会で「あいさつのできる子ども」との保育目標の実践を強調されている時に、タイミングよく「あいさつの歌」が披露されたが、この歌詞もメロディーも非常に素晴らしく子どもたちも大喜びで歌い・覚えた。来年も3月ごろ呼びたいと思っている。
- ・2月16日(金)今回で3回目となる卒園児ライオン組の、富士見小学校の見学会を開催した。

後日、お世話になった島田校長先生にライオン組全員の集合写真を真ん中に、全員が自分の名前を書いたものを聞き取り調査に来た富士見小の先生にお渡ししたところ、大変喜んでくださり即座にお電話を下さった。→担任の帆足tに感謝

3月・3月24日(土)第6回卒園式を行った。卒園児21名の今後の更なる成長を祈る。なお後日談として、4月の入学式終了後ランドセル姿を保育園に見せに来てくれた子どもの数がとても多く嬉しかった。

法人関係

①役員会会議

- | | |
|--------------------|--|
| ・5月26日(金) 監事による監査 | ・井上、中園 両監事による会計監査の実施 |
| ・5月26日(金) 第1回定例理事会 | ・平成17年度決算報告書(案)承認の件
・平成17年度事業報告書(案)承認の件
・定款施行細則制定案承認の件
・就業規則一部改正案承認の件 |
| ・8月30日(水)第2回定例理事会 | ・平成18年度第一次補正予算書(案)承認の件 |
| ・12月3日(日) 第3回定例理事会 | ・役員改選の件
・理事長の互選の件
・平成19年度新体制の件
・平成18年度第二次補正予算書(案)承認について |
| ・3月28日(水) 第4回定例理事会 | ・平成18年度第三次補正予算書(案)承認の件
・平成19年度資金収支予算書(案)承認の件
・平成19年度事業計画書(案)承認の件
・就業規則の一部変更について |

②施設整備について

- (1)2歳児(うさぎ組)保育室の拡張工事を検討したが、現状の広さでも備品の置き方等を工夫すれば、200万円近くの費用をかけて拡張しなくても現状の広さで機能するというので、とりあえず今年度の工事は見送ることにした。
- (2)「情報機器・設備の強化」に関する整備について
各種ソフトウェアの購入、一時保育質用のパソコン一式、高速ネットワークHDD、LAN配線工事等の全体で、110万円の購入/工事代で整備を行った。
- (3)事業計画に載っていない追加の施設整備の実施状況について
 - ①扇風機の取り付け3台(ひよこ組、パンダ組、リス組に各1台設置)
 - ②吹き抜け部落下防止対策(2Fの正面玄関の上、ホールの上リス組通路のところに、子どもが何か物を投げたり落としたりした時に、1Fへの落下防止のための網の設置)
 - ③玄関扉とって交換と扉の塗装

以上の3点で約25万円の工事を行った。

職員関係

①職員構成と職務分担

事業計画で示した「職員構成と職務分担(園児のクラス編成)」に記載されている職員のうち、4名の職員が退職した。退職者は全員が非正規職員である。

- ①桑谷 知子は、産休・育休対応職員として約2年間保育士常勤パートととして勤務してもらったが、本人が出産を迎えたため7月31日付で退職
- ②鈴木 千絵は、平日夕方のパート職員として3年余勤務してもらったが、結婚のため退職
- ③阿川 知江は、約半年間夕方のパート職員として勤務してもらったが、一身上の都合で8月18日付で退職
- ④伊藤 美那は、保育士養成学校に通う間夜間のアルバイト職員として勤務してもらったが、学校を卒業し八王子の保育園に勤務先が決まり、3月10日付で退職

②職員会議の予定と、職員の健康管理については、ほぼ計画通りに開催し、実行した。

なお、今年度は経営改革の研修会が在ったため、かなり頻繁な全体会合の開催となった。

③研修について 詳細は、研修報告書に記載されているので、ここでは概略を記す

- ・5月
 - ・西保連総会での記念講演(心の東京革命 多湖 輝先生):乳児教育の重要性について 約20名が参加
 - ・平成18年度給食施設栄養管理講習会(西多摩保健所) 管理栄養士1名参加
 - ・三保連春の園長研修 園長1名参加
 - ・西保連実践部会研修会:アンケートを基に、KJ法で解決方法を探す研修2名参加
 - ・園内研修:澤井先生を囲んでの懇談会(気になる子) 25名参加
 - ・羽村市の子育て支援担当者勉強会・事例検討会 2名参加
- ・6月
 - ・プール衛生管理講習会(西多摩保健所) 看護師1名参加
 - ・西保連主任研修会:横浜市きらら保育園施設見学研修会 主任1名参加
 - ・西保連給食部会研修会:18年度のアレルギーの現状について・他 1名参加
- ・7月
 - ・平成18年度福祉施設経営基礎講座(東社協) 園長1名参加
 - ・食品衛生実務講習会(西多摩保健所) 1名参加
 - ・西保連実践部会研修会:経験年齢別研修 2名参加
 - ・三保連研修会:接遇マナー研修 1名参加
 - ・三保連研修会:接遇マナーとリーダーシップ研修 1名参加
 - ・子育て相談者会議(事例研修会) 2名参加
 - ・西保連給食部会研修会:うどんづくり研修 1名参加
- ・8月
 - ・特定給食研究会:調理講習会「中華点心 3種」 1名参加
- ・9月
 - ・平成18年度新任保育所長研修会(東京都) 次期園長1名参加
- ・10月
 - ・西保連統合部会研修会:澤井先生を囲んでの懇談会) 1名参加
- ・11月
 - ・乳幼児期の口腔保健:食べ方上手に育てよう!(西多摩保健所) 1名参加
 - ・西保連職員研修会:自然に学び、日々の保育に活かす 2名参加
- ・1月
 - ・園内研修:澤井先生を囲んでの懇談会(第2回) 25名参加
 - ・三保連研修会:「保育士の健康について」「健康スキルを高めましょう」2名参加
 - ・西保連教養講座:劇団風の子「小さい劇場」 8名参加
- ・2月
 - ・虐待を疑われる時の、子どもの親の話しの傾聴法 1名参加
 - ・アレルギー食に関して特に力を入れている保育園の施設見学会 1名参加
 - ・西保連給食部会研修:調理実習(食物アレルギー児の食事中心) 1名参加

- ・2月
 - ・三保連研修会:中堅主任保育士研修会 1名参加
 - ・平成18年度教育課題等開発委員会指導資料説明会 1名参加
 - ・東京都幼児向け食事バランスガイドの説明会 2名参加
- ・3月
 - ・特定給食施設栄養管理講習会(西多摩保健所) 2名参加

以上 平成17年度の、研修実績です。

児童処遇関係

①園児のクラス編成

- ・適正であり、特に問題は無かったが、年度前半において一部複数担任のクラスで、職員間の意志の疎通を欠き多少の軋轢があったようであるが、年度後半ではクラス内での突っ込んだ話し合いができてお互いに分かり合えることができ、クラス運営も非常にスムーズになった。
- ・昨年度は産休・育休を取得した保育士3名への産休対応が大きな課題であったが、今年度は赤ちゃんを抱えた保育士の欠勤対応が大変であった。
- ・平成13年の開園時に新卒で入職した保育士に、年兆組(ライオン)の一人担任をさせた。今まで乳児組の複数担任のリーダー以外をしていたので心配であったが、先輩の良きアドバイスと本人の頑張りで立派に保育を進め、卒園式の後では多くの保護者から感謝されるまでに成長し、良い結果となった。

②児童の健康管理

- ・計画どおり実施した。
- ・今年度の前半は、病院で受診させるようなケガは殆どなかったが、後半は9月×2名(ひよこ)、10月×1名(くま)、12月×1名(ひよこ)、2月×2名(くま・ライオン)の病院受診のケガが発生した。幸いにも全て大事に至らず、数日で完治する事ができた。
- ・感染症については、例年に比べてくに目立った発生も無く良好。
- ・虫歯予防デーの時に、紙芝居のクイズ形式で歯や歯磨きの大切さを子どもたちに訴えたが、非常に効果があった。
- ・投薬ミスについては、咲く事務所に設置した透明なポケットの付いた薬いれを設置した改善策と、投薬依頼受け専用の連絡帳を設け、一般の連絡ノートと分けて記入する方法をとったことにより、問題の発生は無かった。
- ・投薬依頼期間が2W~3Wと長い場合や、散歩について親の可否記入欄は問題があり、来年度に向けてどうするべきかを検討する必要があると思っている。

③給食実施

- ・内容的には、指導方針どおり実施し、手作りや旬のものを取り入れることを心掛けた。
- ・「食育」の観点から、保護者へのアンケートを実施したが、多くの保護者からの協力があり高い回収率となった。家庭での食生活や、延長保育用の補食や夕食の意見なども聞けてよかった。→来年度に向かって非常に参考になった。
- ・調理保育では、少しでも食材に触れられるよう、玉ねぎやトウモロコシ、グリーンピース等の皮むき、さやむきを取り入れたが、これからも身近な食材に触れる機会を増やしたい。
- ・今年度も食物アレルギーで特に除去食を必要とする子どもがいなかったが、食物アレルギー対応について、各保育園が取り組んでいる内容をベースにした研修会等に積極的に参加し、いつでも適正に対応できる体制を作っておくよう努力する。

- ・衛生面で、今年はノロウイルスの大流行で調理室でも改善しなければならないことが多くあった。夕飯準備や片付けのマニュアルも作成した。配膳等、今まではクラスで素手でしていたものを手袋をつけては配膳してもらうように改善したり、食事の前に絵本を読んでそのまま食事をしていた子どもがいたのでその改善をしてもらった。

④保育について

- ・年間行事計画については、今年度は天候に恵まれ、雨天のため中止や延期の発生が無く良かった。但し、7月15日のサンサンまつりでは、準備中に突風と豪雨さらには雹が降り大変な思いをしたが、なんとか開催できた。
- ・プール開きを例年より一週間早めて6月26日(月)としたが、6月後半で真夏日が多く正解であった。来年度も同様の時期にする。
- ・改革研修会の中で、当園の保育方針・目標(7項目)を日常の保育の中にどう活かし実現していくかが大きな課題であると訴えられ、先ず一番身近な「あいさつができる子」の保育目標の実現に取り組もうということで、職員皆で真剣に取り組んだ中で子どもたちもあいさつが以前に比べてとても良くなったと感じている。
- ・定員15名の0歳児(ひよこ組)の保育のあり方について検討したが、15名の子どもを5名の保育士が全員で担当する保育体制から、1人3名ずつの担当制にするほうが良い面が多いのではないかと結論に達し、来年度からはこの方向で実施することで、人選や体制を考えることとした。
- ・幼児組のタテ割り保育について、食事・散歩等々で取り入れているが、今後もさらに年齢別をベースにしながらも、タテ割り保育のよさを実現できる場を多く作っていくように、幼児部会の中でよく話し合い進めていくこととする。

災害対策 (計画通り実施)

- ・平成18年度の毎月1回の避難訓練実施記録簿は別にある。
- ・4歳児と5歳児について、全員に防災頭巾を購入し、避難訓練時これを被ることにした。
- ・今年度全過程を対象にした「引きとり訓練」を9月1日に実施した。本来は近くのこんぴら山公園に避難して、そこで迎えきた保護者に園児を引き渡す予定であったが、雨天のため保育園内で引き渡すこととなった。引渡し予定時間の引きとりに参加されたご家庭が、9割程度と多くの家庭の協力を得ることができた。

保護者との関係 (計画通り実施)

- ・保育懇談会は0歳児(ひよこ組)について、6月10日(土)保護者全員が参加して実施した。クラス担任5名と栄養士(離乳食について)、看護師が出席していろいろな面からの説明、質疑応答、などなど活発な意見を交わしての、有意義な懇談会となった。個人面談は希望者のみとしていたが、クラスの殆どのご家庭で面談を希望され、この中でじっくり話し合う中で育児不安等の心配ごとが解消したことも多くあり喜んでもらった。
- ・ひよこ組以外は、クラス一斉の懇談会は行わず、個人面談を実施。年間をかけて、各クラス別に子どもの状況などを勘案して面談日程を決めて行った。
- ・改革研修会のなかで保護者対応についての研修を行い、より良い対応に努力している。
- ・苦情受付では、昨年度の8件に対し今年度は12月6日付の1件のみの受付となった。内容的には駐車場の関係である。詳細は苦情記録簿に起債してあるとおりであるが、適切に対応し改善済みである。

地域社会との関係

- ・地域のお年寄りを保育園にお招きしての「園児とのふれあい昼食会」を今年度も開催し、近隣のお年寄りの居るご家庭に喜んでいただいた。今回は年長組(ライオン)の祖父母もお招きして、多くのお年寄りの参加をみた。
この昼食会以外にも、当園の三大大行事(7月のサンサンまつり、10月の親子運動会、12月のサン太おたのしみ会)に地域住民の方々に参加していただくことにより、保育園の地域での役割を少しでもご理解していただけたと思っている。
なお、地域活動補助金が昨年度からソフト交付金化されたが、羽村市の「民間保育所運営費支弁要綱」に保育所地域活動事業が正式に制定され、18年度分の当園の補助額は昨年同様50万円となった。

特別保育事業の実施状況について

1) 延長保育(18:00～20:00までの2時間延長)利用人数の推移・・・1日あたり平均利用人数

	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
1H延長	10人	15人	7人	7人	7人	6人
2H延長	11人	12人	14人	11人	10人	12人
合計	21人	27人	21人	18人	17人	18人

- ・平成16年度から3年連続して1日当たりの平均利用者数が合計で20人を切ってしまった。補助金のランクが、20人以上と未満では大きく違うため、ここ3年間の補助金は従来に比較して、約150万円の減額となり、旧国基準分=2,148,000円、と基準分=2,100,000円で合計=4,248,000円の支給である。なお、パンダ組の延長利用者が全くいないのが大きい。

2) 一時保育(休日を除く月曜日～金曜日の8:30～5:00)利用人数の推移・・・月当たり平均人数

	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
半日保育	両方で	52人	40人	23人	14人	21人
一日保育	74人	99人	118人	112人	89人	89人
合計	74人	150人	158人	135人	103人	110人

3) 休日保育(日曜日・祝日)利用人数の推移・・・月当たりの延べ利用人数

	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
休日保育	26人	27人	27人	23人	25人	26人

4) 地域子育て支援センター事業の実施状況について

- ・利用人数は毎月98人平均である。育児不安等の相談件数も毎月平均10件あって担当保育士が丁寧に対応している。若干サークルへの参加希望者が減少してきているが、サークル活動の支援も全力で取り組んでおり、地域の子育て家庭に対し大きな力となっていると思っている。